

⑤ <市道金親町69号線整備のストック効果について>

新たな道路の誕生により、救急活動支援や古街道(御成街道)の景観保全が図られました。

■①救急活動支援

■位置

若葉消防署より、若葉区北西方向への出動所要時間が大幅に短縮され、救急活動に効果を発揮

若葉消防署→御成台1丁目交差点

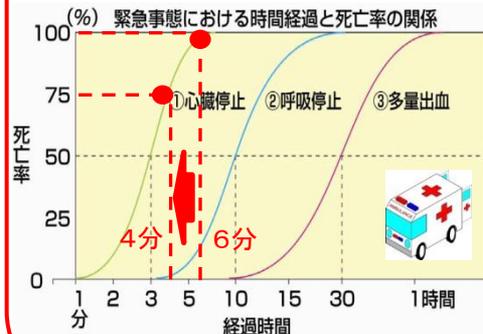
→ 開通前 約6分
→ 開通後 約4分(約2分短縮)

出典:消防局ヒヤリング



【現場到着時間短縮による救命率の改善】

①心臓停止
開通前(6分)0%⇒開通後(4分)25%
「2分の時間短縮で救命率が25%に向上」



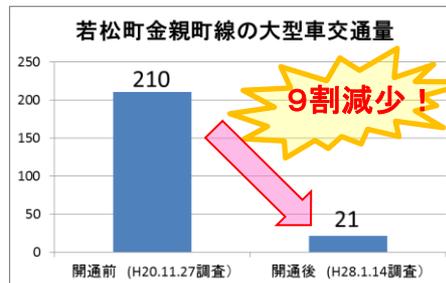
出典:カーラーの救命曲線

■③交通の転換による安全性向上

幅5m程度の狭い既存道路から、新設道路へ主に大型車両の交通の転換が図られた。

供用前 210台/ピーク時間
供用後 21台/ピーク時間
(9割減少)

(ピーク時間:交通量が最も多い午前7:00~9:00及び17:00~19:00の4時間)



(主)千葉川上八街線

整備概要
道路新設整備(平成27年10月開通)

■開通後



■②歴史的景観の保全

御成街道は船橋御殿から東金御殿までの約37km道幅約5.5mのほぼ一直線の道路で、慶長18年(1613年)徳川家康が東金への「鷹狩り」をする目的に造られた道。

当時の道幅が残っている貴重な区間であり、現在も、長屋門(一般的に武家屋敷で家臣を住ませる門)など、歴史的な景観が残る。

観光ガイド(千葉市観光協会:御成街道里山散策コース)で紹介されています。

http://www.chibacity-ta.or.jp/kanko_course/onarikaido

